

令和4年度シラバス（家庭）

学番 28 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科	科目	単位数	教科書名	副教材等
家庭	家庭基礎	2	家庭基礎 気づく力築く未来 (実教出版)	家庭基礎 気づく力築く未来 学習ノート (実教出版) 最新生活ハンドブック (第一学習社)

授業形態及び履修条件等	1年次生 必履修科目
-------------	------------

1 学習目標

人の一生と家庭・福祉、衣食住、消費生活、環境などについて生活を主体的に営むための基礎的な知識と技術を習得させる。男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育てる。

2 指導の重点

- ① 人の一生を時間軸と空間軸でとらえられるよう、身近な具体例を取り上げて生徒自身の問題として考えさせる。
- ② 実習を多く取り入れ、基礎的な知識と技術を身につけさせる。
- ③ 授業全般を通してSDGsを考え、身近な問題を解決する力を身につけさせる。

3 学習計画

月	単元名	指導内容	時間	評価方法
4	これからの人生について考える 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsなぜ必要なのか理解する。</li> <li>・各ライフステージの特徴と課題について理解させ、男女が協力して家庭を築くことの意義や家庭生活のあり方を考えさせる。</li> <li>・乳幼児の心身の発達と生活や親の役割について理解させる。</li> </ul>	6 8	授業の取り組み 学習ノート レポート 定期テスト
5	子供と関わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを取り巻く現代の問題に目を向け、その原因や理由、命と真剣に向き合う姿勢を身につける。</li> </ul>	6	
6	高齢者と関わる 社会と関わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の心身の変化と特徴を理解し、高齢社会に求められる福祉のあり方を理解し関心を深める。</li> <li>・安心して充実した生活を送るために、個人や集団がどうつながり、支え合うか共生社会の重要性について理解する。</li> </ul>	4 4	
7	ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や学校、地域の課題を考える。</li> <li>・ホームプロジェクトの課題を考え、計画を立てる。</li> </ul>	2	授業の取り組み 学習ノート レポート 定期テスト 作品 レポート
8	衣生活を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。</li> </ul>	10	
9	住生活を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服製作の基礎的な知識と技術を習得できるよう、被服製作を行う。</li> <li>・住居に関する知識を習得し、健康で快適に営むことができるようにする。</li> </ul>		

10 11 12 1	食生活を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の食生活を健康で快適に営むことができるようにする。食事（特に朝食）の役割を理解させる。</li> <li>・日常用いられている主な食品や、実習で用いる食品の栄養的特質と調理上の性質に関する知識を習得させる。</li> <li>・調理実習を通して、基本的な調理技術を身につけさせる。</li> </ul>	18	授業の取り組み 学習ノート レポート 定期テスト 作品 レポート
2 3	消費行動を考える  経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の消費生活の課題について認識させ、消費者として責任ある行動ができるようにする。</li> <li>・自分の消費行動と環境とのかかわりを意欲的に考え、行動できるようになる。</li> <li>・生活における経済と社会の関わりについて理解させる。</li> </ul>	6  2	授業の取り組み 学習ノート レポート 定期テスト 作品 レポート

計 70 時間（50 分授業）

#### 4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人の一生と家族、保育、衣食住、高齢者、消費生活、環境などに関する幅広い知識を習得し生活に関する基本的な事項が理解でき、問題について考え、行動することができる。	人の一生と家族、保育、衣食住、高齢者、消費生活、環境などについての問題点を見つけ、その解決に向けて思考を深めている。また、状況を判断して適切に実習を進めることができる。	人の一生と家族、保育、衣食住、高齢者、消費生活、環境などについて関心を持ち、自分の生活との関連をもたせ、その充実向上を目指して意欲的に取り組もうとしている。

#### 5 評価のポイント

評価規準をもとに、授業への取り組み状況（授業態度・実習態度・学習活動の参加状況など）、課題の提出状況、定期テストなどから総合的に評価します。

#### 6 担当者から

将来よりよい家庭生活を送るために必要な知識と基本的な技術を身につけ、自立した生活を送ることができるように意欲的に取り組みましょう。